

1年 「数と計算」の基礎学力の充実をはかる6月のワーク

はじめての立式ワーク

熊本市立出水南小学校教諭 村上浩一

1. このワークのねらい

立式の学習は、本単元が初めてであり、これからの算数学習の基本となるところである。ここでのたし算の場面は、合併（「あわせて」「ぜんぶで」等々）と増加（「ふえると」「いれると」等々）である。教科書通り、絵から図へと進み、それを式化し、同時に式を声に出して読む学習へとつなげていく。そして、立式をしたら、答えまでしっかりと書かせることが大切である。

最後には、たし算の練習をする。慣れてきたら、フラッシュカードを使ったりして、暗算ができるようにしていきたいものである。

2. ワークの使い方

皿にみかんがのっているという設定である。教科書を学習した後、(1)の合併では式を声に出して読み上げながら、数字を書いていくようにしていく。(2)の増加では音声の読み上げ部分も含めて、式を数字で記入していくようにしている。さらに、答えの「こ」も記入させるようにしている。子どもたちは、意外と

この部分を忘れがちだからである。(3)では、1列目だけに「＝」を打った。それ以後は、自分で記入するようにする。ここには、前単元の10の補数の問題も入れてみた。

3. 子どもにさせたい活動

ワークは練習・確認のためにあるのだが、それまでに以下のことは、何回でも授業中に押さえていきたいものである。下は、1年生がよく使うノートだが、そこに問題文を「視写」させたい。「あわせて」「ふえると」というようなキーワードを赤鉛筆で書かせてもいだろう。これらの言葉と「+」の関連をしっかりと意識させていきたいものである。また、ここでのたし算のパターン（1位数+1位数=10以下の数）は、できればスラスラ言えるようにしていきたいものである。

4. 評価

答えの「こ」と「＝」を忘れずに、全部の問題に正解したら、A。「こ」や「＝」を書き忘れるか、2、3の間違いがあれば、B。

(↓1年生の使用するノートでの視写例)

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|----|
| | が | つ | | に | ち | | ペ | ー | ジ |
| (1) | あ | わ | せ | て | | な | ん | こ | で |
| し | よ | う | 。 | | | | | | |
| し | き | | 5 | + | 2 | = | 7 | | |
| こ | た | え | 7 | こ | | | | | |